PETER DAVID BETER・音声書簡 第20号

1977年1月24日

テーマ1 ヘンリー・フォード2世が

1 より良い大規模な免税基盤の影響に戻ります。



2 ノーマン・ドッドが行った基礎に関する議会調査の記録を思い出す。



3 ベター氏は、財団の理事の中には政策の方向性を恐れる者もいると言います。



4 ヘンリー・フォードは1977年1月11日にフォード財団の理事に就任した。



5 書簡は、事業収益が基盤を可能にしたことを強調しています。



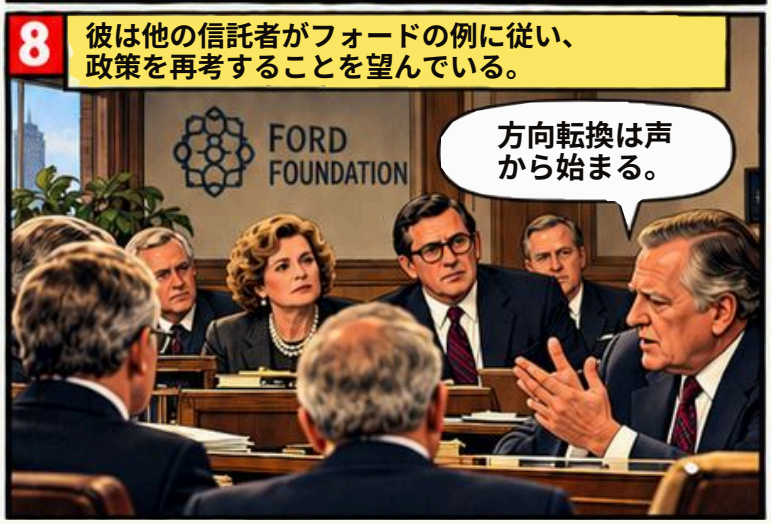
6 Fordは、基礎に、si~~s-ts システムを強化し改善するよう求めている。



7 ベターはフォードの競争企業の防衛に対する反応を批判する。



8 彼は他の信託者がフォードの例に従い、政策を再考することを望んでいる。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第20号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第20号

1977年1月24日

テーマ2 戦前の敵対とベターの警告

1 ベターコムは、以前の戦争に対する宣言されていない敵意で現在を回復します。



2 ソ連の潜水艦がプルトニウムを大気中に放出したと主張する。



3 3度目の作戦は21隻の潜水艦で、13隻が出航し、8隻が出航した。



4 ベターはオアフ島近くで9発のミサイルが撤去されたと主張しているが、新たな配備により総数は90発となった。



5 衛星は、船舶乗組員の判断を阻害するために電子レンジを使用していると、彼は主張する。



6 アーゴ・マーチャント・グラウンドと、その主要な原油流出について論じる。



7 ベターさんは、行方不明のグランド・ゼニスの場所を供給したと話す。



8 海軍と沿岸警備隊は、自身の報告書の調査を拒否したと、同氏は言います。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第20号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第20号

1977年1月24日

テーマ3 超大国兵器競争は

1 ベターは、軍制について公に議論する以上の隠れた武器競争を主張する。



2 トニー・ホッジスが47ページにわたって海綿腕について警告している。



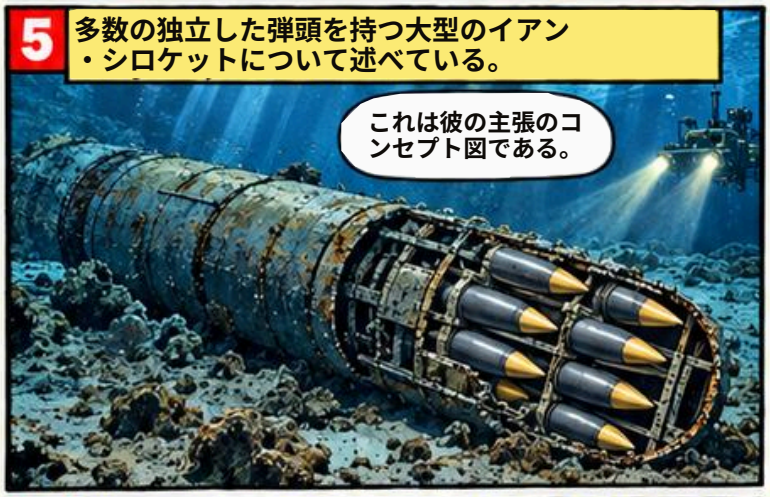
3 ホッジスの文書は実現可能性を論じており、配備を裏付けるものではない。



4 ベター氏は、自身の情報源が14の海底超ミサイルを説明していると述べています。



5 多数の独立した弾頭を持つ大型のイアン・シロケットについて述べている。



6 同氏は、CIAの統制はロックフェラーの利益に役立ち、それには安全地帯が想定されていると主張している。



7 彼のバージョンでは、ミサイル1発が無効になり、5発が劣化し、8発が疑わしいと述べています。



8 ベターは、戦争を防ぐために露出を期待して、すべての14の疑わしいサイトの座標を公開します。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第20号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。